

持続可能性と世代間正義

「持続可能社会」
法学の樹立を展望して

第3回

2015年2月23日(月) 15:00~17:30

早稲田大学早稲田キャンパス 27号館B2階 小野記念講堂

本企画について

持続可能な発展の定義付けの一つに「将来世代が自らの必要性を満たす能力を損なうことなく、現在世代の必要性を満たすような発展」(ブルントラント委員会)というものがあるように、世代間正義は、持続可能性を構成する重要な要素と考えられています。決定する者(現在世代)と、その決定に参加できず決定の帰結を一方的に被る者(将来世代)の非対称性を、法律学はどのように受け止め、どのような制度を構想すべきなのでしょう。その基礎にある世代間正義の分配問題について議論をしたいと思います。

プログラム

■ 趣旨説明： 榎澤 能生

(早稲田大学法学部教授)

■ 講演： 宇佐美 誠

(京都大学大学院地球環境学学教授)

「世代間正義の分配理念」

■ コメント： 齋藤 純一

(早稲田大学政経学部教授)



宇佐美 誠



齋藤 純一

参考文献

宇佐美誠「将来世代への配慮の道徳的基礎——持続可能性・権利・公正」
鈴木興太郎編『世代間公平性の論理と倫理』東洋経済新報社、255-282頁、2006年

宇佐美誠「将来世代をめぐる政策と自我」
鈴木興太郎・宇佐美誠・金泰昌編『世代間関係から考える公共性』公共哲学 20、東京大学出版会、69-87頁、2006年

主催：早稲田大学比較法研究所
現代政治経済研究所

お問合せ先：hiken@list.waseda.jp

《事前申込不要》

アクセス

東京メトロ早稲田駅3aまたは3b出口から徒歩5分

都電荒川線早稲田駅から徒歩5分

